評価の観点に対応した支援のポイント

「関心・意欲・態度」を育む支援 3つのポイント

- (1) 欲求充足を促す(主に自分自身にかかわる) 魅力的な活動を工夫する。
 - ・教室外 ・自然体験 ・ゲーム性 など 活動そのもののよさ 知的好奇心を刺激する。
 - ・認知的不協和 ・予想 提示 (KR 情報) ・選択の場
- (2)見通しを得させる(主に問題解決にかかわる) 問題解決の方略の得させ方を工夫する。
 - ・課題の明確化・解決の内容と方法の明確化
 - ・課題解決(ゴール)までの距離の自覚化

課題解決のよさの感じ取らせ方の工夫をする。

- ・過去の経験の想起・解決時のイメージ化
- (3)友達とのかかわりのよさを感じ取らせる(主に集団学びにかかわる) 友達との考えの差異の自覚化、共有化 (知的) 友達との協働のよさの自覚化、共有化(情的)

「見方・考え方、思考・判断等」を育む支援 2つのポイント

(1)活動へ取り組む視点を与える

十分な活動の時間と場の保障

・試行錯誤・失敗の勧め

活動へ取り組む視点、めあての自覚化

- ・事前に得させ、活動中に確かにすること
- (2)話し合い活動の工夫をする

共通の意識の保障

- ・話し合いの目的 ・話し合いの内容 ・話し合いの方法の共有
- -人一人の意見の違いの明確化
 - ・類別
- ・類別の視点の明確化 ・比較検討の視点と場・時間の保障

「表現・処理、技能」を育む支援 4 つのポイント

- (1)楽しさを感じ取らせる めあての自覚化、
- (2)納得を得させる 繰り返すことのよさの自覚化 「できる」ことのよさの自覚化
- (3) 高まりを自覚させる (4) コツを得させる



「知識・理解」を育む支援 2 つのポイント

- (1)結果として身に付けることができるようにする。
- (2)教えることを精選し、明確に教える。
- (3)生活に生かす(「見方・考え方」「技能」に生かす)